

# 地理空間学会ニュースレター

## JAGS

Japan Association on Geographical Space

第5号

発行日 2009年9月26日

発行 地理空間学会事務局

### 第5回例会のご案内

地理空間学会では、第5回例会を下記の通り開催します。

日時：2009年10月10日(土) 14:00~17:15

会場：筑波大学 東京キャンパス大塚地区(文京区大塚3-29-1) G202

キャンスマップ([http://www.tsukuba.ac.jp/access/otsuka\\_campus.html](http://www.tsukuba.ac.jp/access/otsuka_campus.html))

交通：東京メトロ丸ノ内線茗荷谷(みょうがだに)駅下車 徒歩2分

アクセスマップ([http://www.tsukuba.ac.jp/access/otsuka\\_access.html](http://www.tsukuba.ac.jp/access/otsuka_access.html))

発表者および演題

「地域復興・地域振興の現場から」

趣旨説明： 14:00~14:05 渡邊 敬逸

発表1： 14:05~14:55 清水 克志(農村工学研究所 特別研究員)

「地域資源としての在来野菜品種の保全と活用

- 山梨県丹波山村の在来種ジャガイモを例として - 」

発表2： 14:55~15:45 福留 邦洋(新潟大学災害復興科学センター 特任准教授)

「住宅および居住者の特性に着目した震災被害と再建・復興過程 - 神戸・中越を事例として - 」

<休憩> 15:45~15:55

発表3： 15:55~16:45 渡邊 敬逸(小千谷産業開発センター 地域復興支援員)

「研究者の実践とその可能性 - 地域復興支援員の経験をもとに - 」

<総合討論> 16:45~17:15

終了後、茗荷谷駅近辺で懇親会を開催予定。参加は当日受け付けます。

### 第2回大会が開催されました

6月20日(土)、21日(日)に、筑波大学総合研究棟Aにおいて、第2回大会が開催されました。

当日は評議会の後、下記の研究発表が行われ、活発な議論が展開されました。

一般発表

加藤晴美(筑波大学・院)・清水克志(農村工学研究所)

「廻船寄港地御手洗町における花街の景観と地域住民 - 昭和20年代を中心として - 」

川久保典昭(水戸第一高)

「身近な事例を活用した地理教材の開発と効果」

秋本弘章(獨協大学)

「これからの地理教育 - 地理空間情報活用推進基本法との関連で - 」

岩間信之(茨城キリスト教大学)

「中山間地域における高齢者の健康な食をめぐる生活環境問題」

仁平尊明（筑波大学）

「グローバル化と日本の小麦生産」

若本啓子（宇都宮大学）

「銘柄和牛肉の質の構築をめぐる地域実践 - 「とちぎ和牛」を事例として - 」

淡野明彦（奈良教育大学）

「EUにおける鉄道交通体系の革新」

ポスター発表

小林岳人（千葉県立沼南高柳高）

「高等学校における地図教育」

曾我俊生（筑波大・院）

「関東地方における公共ホールの分布構造」

橋本 操（筑波大・院）・間野 勉（北海道環境科学研究センター）

「ヒグマの胃内容物からみた野生動物と人間の生活空間の関係分析」

池田真利子（筑波大・院）

「マイノリティー文化の与える都市景観への影響 - ブラック・カルチャーを事例として - 」

菱沼雄介（筑波大・院）

「浦安市における都市化の展開と居住者特性の地域差」

遠藤貴美子（筑波大・院）

「東京におけるガラス食器産業の変容」

津田憲吾（筑波大・院）

「大型複合施設立地による周辺地域への影響 - 青物横丁駅から品川シーサイド駅を事例に - 」

常木正道（筑波大・院）

「つくばエクスプレス開業による駅周辺の変容 - 研究学園駅・守谷駅の事例 - 」

講演会では、菅野峰明会長（埼玉大学教養学部・教授）から「サンベルト現象後のアメリカ合衆国南部」の題目で、ご講演いただきました。総会終了後、本部棟 1F レストランにおいて懇親会が開催されました。

巡検について、オーガナイザーを務めた大石貴之会員より、下記のコメントが寄せられています。

6月21日は、「鬼怒川下流域の都市・農村の変容を探る」と題して、守谷市、常総市を中心に巡検を行いました。昨年に引き続き、あいにくの雨模様の中で行われた巡検ですが、総勢33名と多くの方々に参加していただきました。対象とした地域は鬼怒川と利根川の合流部にあり、水運で栄えた水海道の町並みや、開拓地の広大な水田農業、そして豊富な水を利用した工業であるビール工場と、様々な形で水とかわりあいを持っている地域の姿、そして変容を肌で感じとることができました。

不慣れな中での案内ではありましたが、参加者の方々が非常に興味を持って各地域を観察し、巡検を楽しんでいただけたことは、私どもにとっては存外の喜びとなりました。参加された皆様には、この場を借りて心より御礼申し上げます。来年度の大会巡検はフィールドを移し、これまでとはまた違った形の巡検を開催する予定です。次回もたくさんの皆様の参加をお待ちしております。

来年度の大会は6月に神奈川大学で開催の予定です。例会も含めまして、皆様のご参加をお待ちしております。

## 総会報告

日 時：2009年6月20日(土) 17:10～17:40

場 所：筑波大学筑波キャンパス総合研究棟 A110 公開講義室

参加者：33名

地理空間学会 2009年度総会は、2009年6月20日(土) 17:10～17:40、筑波大学筑波キャンパス総合研究棟 A 公開講義室にて開催された。山下清海常任委員長の開会の辞、菅野峰明会長の挨拶があった。次に中西僚太郎会員を議長に選出し、淡野寧彦会員に書記を委嘱した。

### 会務報告(山下常任委員長)

- ・会員数について報告があった。

2009年6月18日現在 227名(一般会員:168名 大学院生会員:43名 学生会員:16名)

- ・2008年6月21日・22日に筑波大学筑波キャンパスで、第1回大会を開催したことが報告された(参加者数:84名)
- ・2008年6月20日に機関誌「地理空間」第1巻1号が、2008年12月20日に同第1巻2号が刊行されたことが報告された(論説4編, 展望2編, 調査報告1編, フォーラム2編, 書評7編)
- ・下記の通り、例会を開催したことが報告された。
  - 第1回例会(2008年5月10日) 筑波大学東京キャンパス(出席者26名)
  - 第2回例会(2008年10月18日) 立教大学池袋キャンパス(出席者30名)
  - 第3回例会(2009年2月10日) 筑波大学筑波キャンパス(出席者74名)
- ・2008年12月1日に会員名簿を発行したことが報告された。
- ・ホームページおよびメーリングリストを設置し、運営中であることが報告された。
- ・下記の通り、ニュースレターを発行したことが報告された。
  - 第1号(2008年5月9日), 第2号(2008年7月9日), 第3号(2009年3月9日)

### 決算報告・監査報告(仁平会計委員長)

2008年度の一般会計および特別会計の決算案が提示され、その収支について会計監査人(内山幸久会員, 淡野明彦会員)より適正であるとの承認を受けたことが報告された。会計監査人からは、今後の予算案作成に際して、予算項目をより詳細に設定することが提案された。2008年度決算案は異議なく承認された。

<一般会計>

収 入		単位：円		
科 目	2008年度予算	決 算	差 引	
1 会費	750,000	682,000	-68,000	
2 ページ超過料金	160,000	335,295	175,295	
3 雑誌の販売	120,000	4,000	-116,000	
4 大会参加費	60,000	55,000	-5,000	
5 地理空間学会学術基金より繰り入れ	280,000	110,261	-169,739	
2008年4月1日～2009年3月31日 合計	1,370,000	1,186,556	-183,444	

支 出		単位：円		
科 目	2008年度予算	決 算	差 引	
1 印刷製本費	1,010,000	973,560	-36,440	
2 通信・運搬費	130,000	82,710	-47,290	
3 大会・例会費	100,000	27,940	-72,060	
4 消耗品費	50,000	75,197	25,197	
5 事務費	50,000	27,149	-22,851	
6 雑費	30,000	0	-30,000	
2008年4月1日～2009年3月31日 合計	1,370,000	1,186,556	-183,444	

2008年度 総収入 1,186,556

2008年度 総支出 1,186,556

収 支 0

#### 2009 年度事業計画（山下常任委員長）

2009 年度事業計画について、「地理空間」第 2 巻 1 号・2 号の刊行，第 2 回大会の開催，次期大会の開催準備，例会の開催，ニュースレターの発行，ホームページ・メーリングリストの管理・運営が提案された。2009 年度事業計画は異議なく承認された。

#### 2009 年度予算案（仁平会計委員長）

2008 年度予算案について，収入と支出に関する説明がなされた。会計監査人からの提案をふまえ，各項目の内訳を詳細に設定するよう努める旨が述べられた。2009 年度予算案は異議なく承認された。

単位：円

収 入		支 出	
会費	750,000	印刷製本費	990,000
ページ超過料金	300,000	通信運搬費	80,000
雑誌の販売	65,000	大会・例会開催費	50,000
大会参加費	60,000	消耗品費	20,000
		事務費	15,000
		予備費	20,000
2009年4月1日 - 2010年3月31日 収入合計	1,175,000	2009年4月1日 - 2010年3月31日 支出合計	1,175,000

#### 地理空間学会賞の創設について（山下常任委員長）

地理学に関する優れた研究業績を挙げた会員を対象に，地理空間学会賞（奨励賞，学術賞，特別賞）を授与することが提案された。学会賞の授与対象者を選考するために，学会賞選考委員会を設けることが提案された。2010 年度の学会賞授与のために，2009 年 7 月 1 日より 2010 年 6 月 30 日の 1 年間を任期として，小林浩二会員を委員長，村山祐司会員を副委員長，矢ヶ崎典隆会員ならびに井田仁康会員を委員とする案が示された。地理空間学会賞の創設と運営は，異議なく承認された。

#### その他

地理空間学会学術基金について，2009 年 3 月の基金設立から 2009 年 6 月までに個人会員 7 名より 31 万円の寄付があったことが，仁平会計委員長より報告された。

以上で議事を終了し 議長による書記の解任と議長の解任が行われた後 山下常任委員長の閉会の辞をもって，地理空間学会 2009 年度総会は終了した。

### 編集委員会からのお知らせ

「地理空間」第 2 巻第 2 号は，2009 年 12 月 20 日に発行を予定しております。また，第 3 巻第 1 号は，2010 年 6 月 20 日に発行を予定しております。第 3 巻第 1 号の原稿については 2010 年 2 月末まで，それ以降の原稿につきましても随時受け付けております。

本誌では，論説，展望，研究ノート，調査報告ともにボリュームのあるものを書けるようになっております。内容は最新の論争から時事性，トピック性の高いテーマや事例研究，授業実践など幅広く受け付けております。また，修士論文や卒業論文，実習報告などのご投稿も歓迎いたします。会員の皆様の活発な寄稿をお待ちしております。投稿規程や執筆要綱につきましては本会 HP，もしくは第 1 巻 2 号をご覧ください。

本学会の活動を幅広く認知してもらうために，会員の皆様の大学研究室や大学・高校の図書館におきまし

て、会誌『地理空間』の定期購読を是非ご検討のほどお願いいたします。ご購入いただける場合には、地理空間学会事務局（geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp）までお知らせください。

## 会計委員会からのお知らせ

---

### (1) 2009年度・会費納入について

会費のお支払いには、地理空間2号に同封されている振込用紙をご使用下さい。または、以下の口座に直接お支払い下さい。

なお、9月1日現在において年会費が未納の会員は、一般会員が62名、院生会員が6名、学生会員が4名となっています。学会の運営を円滑にするために、なるべく早い納入をお願いいたします。

<年会費の振込先>

#### (ア) ゆうちょ銀行への振込（ゆうちょ銀行の振込用紙を使用）

口座記号 00120-5

口座番号 779957

#### (イ) 他の金融機関の口座からの振込

銀行名：ゆうちょ銀行

金融機関コード：9900

店番：019

店名：〇一九店（セ”ロイチキユウテン）

預金種目：当座

口座番号：0779957

受取人名：チリクウカンカ”ツカイ

#### (ウ) 年会費

一般会員 4,000 円、大学院生会員 3,000 円、学生会員 2,000 円

### (2) 地理空間学会学術基金の募集

地理空間学会では学術基金を募集しています。本学会は非営利団体であり、運営は会員のボランティアによって成り立っており、今後の学術雑誌の発行をはじめとする活動に際して、十分な資金があるとは言えない実情にあります。つきましては、地理空間学会の活動をより良いものとするために、会員の皆様の一層のご理解とご援助を賜りますようお願いを申し上げます。

現在までに学術基金へのご寄付をいただいた個人(アイウエオ順)団体の名称は以下のとおりです(敬称略)。  
田林 明, 手塚 章, 仁平尊明, 平岡昭利, 村山祐司, 山下清海, 山本正三, 筑波大学人文地理学研究グループ

<地理空間学会学術基金の振込>

#### (ア) ゆうちょ銀行への振込（ゆうちょ銀行の振込用紙を使用）

口座記号：00150-3

口座番号：707452

#### (イ) 他の金融機関の口座からの振込

銀行名：ゆうちょ銀行

金融機関コード：9900

店番：019

店名：〇一九店（セ”ロイチキユウテン）

預金種目：当座

口座番号：0707452

受取人名：チリクウカンカ " ツカイカ " クシ " ヌツキキン

(ウ) 地理空間学会学術基金の内容

名 称：地理空間学会学術基金

目 的：地理学の優れた研究者を育成することを目的として、その研究活動の充実を図るための資金として活用する。

募集対象：本学会の活動理念を理解し、本寄付の趣旨に御賛同いただける方。

ご依頼額：1口2万円(何口でも可能です)

お問い合わせ先：地理空間学会事務局

## 事務局だより

-----  
地理空間学会ニュースレターの第5号をお届けします。ニュースレターでは学会関連情報を掲載していきますので、掲載すべき情報やご要望がございましたら事務局までお寄せください。最新の情報は学会ホームページ (<http://www.geoenv.tsukuba.ac.jp/~jags/index.html>) で随時更新しています。本会では、会員間の情報交換の手段として、メーリングリスト ([jags-ml@geoenv.tsukuba.ac.jp](mailto:jags-ml@geoenv.tsukuba.ac.jp)) を開設しています。すでに多くの方に参加していただいておりますが、まだ登録されていない方でメールアドレスをお持ちの方は、ぜひご加入いただけますようお願いいたします。

地理空間学会ニュースレター 第5号

発行日 2009年9月26日

発行

地理空間学会事務局

〒305-8572

茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学大学院地球環境科学専攻内 地理空間学会事務局

TEL/ FAX : 029-853-6873

E-mail : [geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp](mailto:geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp)

URL : <http://www.geoenv.tsukuba.ac.jp/~jags/index.html>